カナリヤ通信

第６号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもった女性が、社会の中で逞しく、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

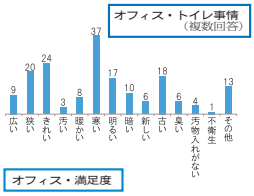
トイレ

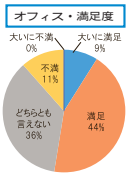
次回は5月11日です。引き続きトイレ（理想編）を予定しています

女性活躍推進法が施行されました。法案成立までに取り上げられた話題の１つに「トイレの整備」がありました。オフィス空間では新築や改修によって、快適な場所となりつつあるようです。一方、現場では「トイレがなくて水分を控えている」といった声も聞こえてきます。そこで今回は「トイレ」をテーマに、アンケート結果を踏まえて考えてみました。

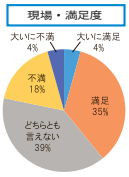
私にとってトイレとは？

考えを整理したり一息ついたりする大事な空間
気分転換できる唯一の場所
トイレは居室だ
ステキだと美意識が上がる
現場の管理態勢が表れる
会社選びの判断材料





今回のアンケートを見ると、オフィスでは93%が満足と答えている一方、現場では39%と低く、歴然とトイレ格差があることがわかりました。トイレ事情については、寒いが両者ともトップとなっている一方、現場については汚い、暗い、古いといった項目をあげる人が多かったです。自由記述欄に「現場のトイレに行けず、近くのトイルで借りている」という意見もあったことから、現場でも女性目線のトイレが必要であることを痛感させられる結果となりました。（アンケート総回答数116、オフィス91、現場25）



今のトイレ事情はこんな感じ

オフィス
明るく広さがあって快適
清潔さは絶対条件
とにかく寒い
毎日清掃して下さる方に感謝！

現場
現場では便器があるだけありがたい
夏は暑く 冬は寒い
女性専用があると使いやすい
そもそも現場のトイレに良さを求めたことがない…

実は、困っていること

オフィス
排水が詰まりやすい
男女兼用で気をつかう
築数十年、臭いが染みつき設備も古い
女性10人に対し個室１つ

現場
臭いがこもる
不衛生だと夢に出る
極力行かずに済むよう水分を控える
汚物入れがない
流れが悪い
男性用が隣接

だから私はこれがほしい！

オフィス
人数に対して十分な個室数
冷暖房
防音装置
清掃業者
季節の花
和式便器
温水が出る
備え付けのペーパータオルやハンドドライヤー
温水洗浄便座
大きな姿見
明るいBGM
小物入れロッカー
コンセント

現場
小物の収納棚
照明
遮音性
着替えができるスペース
手洗い場
作業着や手荷物を置いたり掛けるスペース

トイレを快適空間に

日本トイレ研究所 代表理事　加藤 篤さん

トイレは私たちが生きていく上で欠かせない大切な場所。１日に何度もお世話になり、生理的欲求を満たしてくれます。しかし、汚い、臭い、暗い、怖い、壊れている、いわゆる〝トイレの５K〟だと、ついつい我慢してしまうのではないでしょうか。

トイレを我慢すると、いらいらしたり集中力がなくなるので、仕事のパフォーマンスが下がります。また、女性はよく「水を飲まないようにする」といいますが、脱水症状になる可能性があるので絶対に良くありません。現場で作業する人たちは事故につながる可能性があり危険です。

そもそも、副交感神経が働くことによって排泄が促されるため、トイレはリラックスできる安心な場所であることが求められます。そのためには、まず職場内でトイレの環境について話し合うといいですね。洋式や温水洗浄便座、大きな鏡の設置以外にも、広めのスペース、パウダールーム、フィッティングボード、更衣室など付加価値が付くと快適な空間へと様変わりします。

最近のトイレは、オフィスだけではなく現場などの仮設でも工夫されていて居心地がよく快適な空間を目指しています。まだ課題はたくさんありますが今後は、快適でホッとできる場所、１人になれる場所になっていくのではないでしょうか。

トイレから発信する建設業界のプラスのイメージによって、学生が就職するとき、建設産業界を選んでくれるかもしれませんよ。

日本セイフティーの女性専用レストルーム「ブリリアント」

仮設トイレのイメージは、汚い、暗い、臭いなどトイレの５Kが一般的。しかし、そんなイメージを払拭したのは日本セイフティーが開発した女性専用レストルーム「ブリリアント」。20歳代の女性スタッフだけのチームで考えたというだけあって、かわいらしく華やかな外観、そして中は広い空間が特長です。

オフィストイレに負けないくらい設備が充実、女性目線だからこそ気が付く細やかな気配りが随所にみられます。スポットライト付きの鏡や全身鏡、フィッティングボードなどが装備されているので、仕事帰りにお酒落をして遊びに行きたい！という女子にも最適です。また、フックや物を置いておける場所が複数設けられているので、ヘルメットや手袋、携帯、作業着など気軽に中に持ち込めます。冷暖房完備でいつでも快適です！

また、防犯対策も万全、入り口にカック式のカギがあるので不審者は入れません。また、便器も水洗式とシャトレ＊の２種類を用意。シャトレを採用する場合、１回の水の使用量はわずか1.5ℓなのでとってもエコ。汲み取り式のトイレですが水洗トイレ並みに臭わないことが特徴です。

かわいらしく華やかな外観が特長

設備面でも女性目線だからこそ気が付く細やかな気配りが分かれる。

建設現場におけるレンタル料は、基本料金15万円＋１日5,000円。問い合わせは、電話03―6369―2222。

〈チームさわやか会社員　横島由喜子さん〉

＊シャトレ（ＮＥＴＩＳ登録№ＫＴ―140056―Ａ）

アイカ工業の「トイレ空間・Ｌシリーズ」

女性にとってトイレは大切なスペース。ちょっと気分転換にトイレに行こう！なんてことも多いのではないでしょうか。トイレは今や憩いの空間になりつつあります。

そこでアイカ工業は、女性目線で考えたトイレ空間・Ｌシリーズを開発しました。多彩な柄と幅広い商品による空間のトータルコーディネートを得意とする同社で、トイレプース、パウダースペース、洗面カウンターなど、アンケート結果をもとに、同性だからこそ気づくこだわりのラインナップを提案しています。

例えば、案外困る荷物置き場を一工夫。ちょっとしたスペースを有効活用して置き場所を確保。「バッグスタンドカウンターＬ」はカウンター手前に立ち上がりを付けることで荷物のずり落ちも防ぎます。

他にも、パウダースペースは頬映りがよいことから白をベースにしています。化粧をするときの鏡との距離や女性のポーチの中身調査から、カウンターは奥行き250㎜がちょうど良いと考えました。

使いやすくて見た目も洗練された女性想いのトイレ。６月からは女性目線のトイレ改修セミナーを開催予定。お問い合わせは、同社、電話03－6770－

一番人気の「バッグスタンドカウンターＬ」（写真右）。ストッパー機能付きなので、荷物がずり落ちず、傘をかけることもできる。男性からの評判も良く、駅や商業施設での採用が多い（台）2007。

〈アイカ女性目線商品開発プロジェクト　安井真由子さん〉

紫外線をブロックしながら潤いも

近江兄弟社

いよいよ夏に向かって日差しが強く暑くなる季節。でも、ちょっと待って！肌にとっては黄色信号の季節でもありますよ。

そこで今回登場するのが近江兄弟社の日焼け止めジェル「メンタームザサンＵＶジェルクール」。ＳＰＦ50＋、ＰＡ＋＋＋＋で紫外線をしっかりとブロックしてくれる上に、メントール成分配合なのでひんやりとした使用感。さらに、西洋ハッカ水など７種の植物エキス配合のモイスチャー処方で乾燥しがちな肌に潤いを与えてくれます。ジェルタイプだから、スーッとお肌になじみ白残りやべたつき感がない上、お肌の引き締め効果も抜群。また、ボディーソープや石けんで簡単に落とせるので手間いらず。お手頃価格なので頭のてっぺんから足先まで日常的に気兼ねなく使えますよ。

会社に行く前の日焼け対策はもちろん、営業などお出かけ前のお化粧直しにもぴったりのアイテムです。

他にも、姉妹品にウォータープルーフタイプの「メンタームザサンＵＶウォータリーミルク」もラインナップ。外作業が多い現場技術者には特におすすめです。全国のドラッグストアやスーパーで販売中です。

メンタームザサンＵＶジェルクール（左）とＵＶウォータリーミルク

■「メンタームザサンＵＶジェルクール」を抽選で６名にプレゼントします。住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部にメールでご応募下さい。締切は４月25日（月）です。

■近江兄弟社
1920年に創業以来、ウィリアム・メレル・ヴォーリズの精神をもとに、事業を通じて社会奉仕をしていくという経営方針のもと、医薬品、医薬部外品、化粧品の製造販売メーカーとして歩んできた。「薬用性を重視した親しみやすいスキンケア商品の提案」を商品開発の理念に掲げ、メンタームを始めリップケアやスキンケア、虫除け・かゆみ止めなど幅広く商品を展開している。

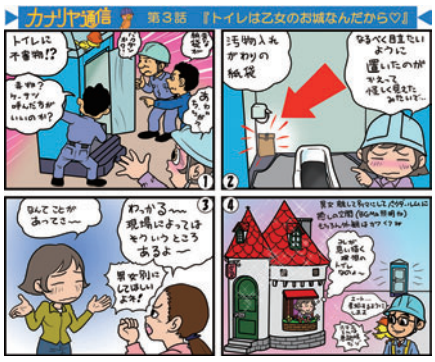
こんにちは！大槻さんちの
きゅうり（福島県産）です

ことしの春も美味しいきゅうりができました。味は最高級品と称されるほど。お取り寄せした人たちから続々と反響が寄せられる上、リピーターも多いそう。

漫画家の西原理恵子さんも大絶賛！震災で風評被害で福島県産の農作物はなかなか手にとってもらえないという話を聞きますが、検査済みなので安心です。

現在、寿建設商店（http://www.kotobuki-shop.com）で元気に販売中！毎朝収穫した新鮮なきゅうりの中から、厳選したものをその日のうちに発送します。みずみずしく美味しいきゅうりをぜひお試しあれ。

■大槻さんちのきゅうり１箱（22本入り）を抽選で５名にプレゼントします。住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部にメールでご応募下さい。締切は４月18日（月）です。



A．取材先の現場でトイレを借りたことがあるけれど、男女共用があったりして使うのをためらったことがあったな　B．駅やデパートのトイレはどんどん進化しているのにね　C．きれいで快適になればなるほど良い仕事ができると思うのは私だけ？　B．仕事が煮詰まった時にもよく行くよ　A．案外気が付かなかったトイレの大切さをもう少し探る必要がありそうだね。

編集部放談

連絡先はこちら→

■お問い合わせ：株式会社日刊建設通信新聞社
カナリヤ通信編集部　03－3259－8711
■ご意見・ご感想、プレゼントの応募は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。

「カナリヤ通信」は商標登録出願中です：商願2015－118346